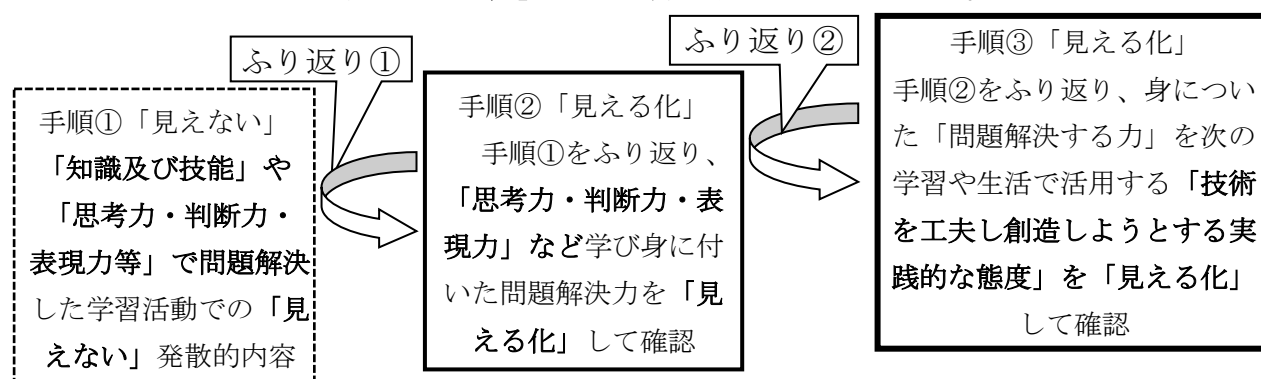


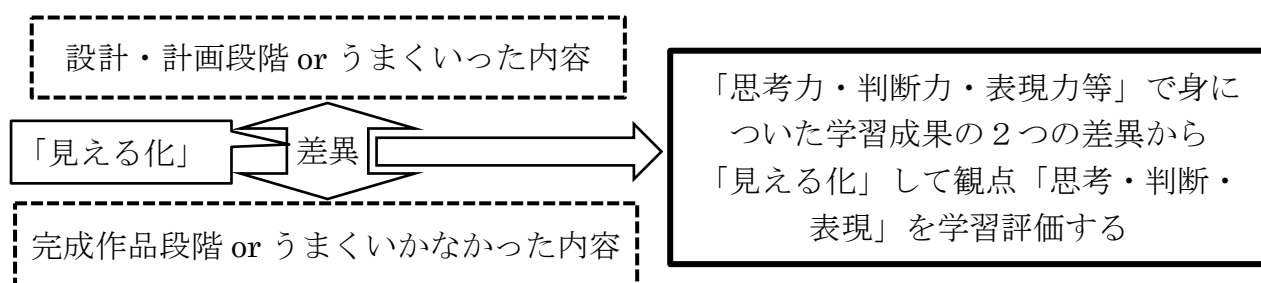
＜303＞ 学習成果が「見えない」学習評価の仕方のエッセンスは？

観点「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」は、学習活動の段階では、育った学力が見えません。そこで、下に示した3例を参考に、育った学力を「見える化」するのがエッセンスです。エッセンスを参考にして、学習評価してはいかがでしょうか！

エッセンスー１：「ふり返し」の機能で、見えない学力を「見える化」し学習評価する例
 繰り返しの機能を使い、「見える化」して学習評価していく例です。

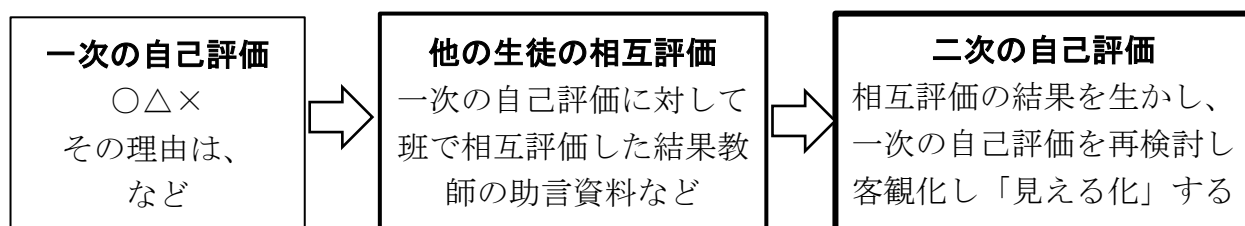


エッセンスー２：「差異」の機能を使い、見えない学力を「見える化」し学習評価する例
 2つの設計・計画や完成作品との差異で「見える化」して学習評価していく例です。



エッセンスー３：「自己評価」を客観的に「見える化」して学習評価する例

自己評価を相互評価などで客観的に「見える化」して学習評価していく例です。



「自己評価」の用紙には、上の流れをうまく工夫して用紙に配置します。「自己評価」は、ワークシートに組み込んでもよいですが、班などで相互評価する際に、交換し易いようにペラの用紙にするのが便利です。